

【ご記入上の注意：書式M-4】

- ・依頼の都度 **最新版の書式ファイル** をJCMのホームページからダウンロードして作成
- ・**Adobe Acrobat** または **Reader** で書類を作成（他社製のPDF編集ツールを使わない）

RIKEN BRC

JAPAN COI

微生物材料提供依頼書

申込日 年 月 日

国立研究開発法人 理化学研究所 バイオリソース研究センター
微生物材料開発室 御中

書類作成日を記入

- 下
遵
- ・生物遺伝資源提供同意書（書式M-5）の《利用者》に記載の**担当者**の情報を記入
 - ・学生の方は《利用者》になれません
- または、別紙「生物遺伝資源提供同意書」記載項目を

●担当者（微生物株は担当者宛てに送付します）【生物遺伝資源提供同意書に署名・捺印されるいずれかの方を記入】

氏名		
(英名)		
所属機関		
部室課講座名		
住所 〒		
担当者E-mail		FAX
連絡者E-mail*	*連絡者が担当者とは異なる場合にのみ記入下さい。	

大学/大学院の場合、担当者が所属する学部/研究科までを所属機関の欄に記入

法人格を含めた正式な機関名称や住所を省略せずに記入

担当者以外の方にもメール連絡が必要な場合にのみ記入

●機関長【学長または学部長（大学）、所長（公立研究所）、代表取締役社長（企業）、知財管理を統括する部署の責任者等を想定】

氏名	職名
所属機関	
機関長確認URL	

生物遺伝資源提供同意書（書式M-5）に記載する機関長の情報を記入
機関長として以下の立場の方を想定

- ・学長または学部長/研究科長（大学/大学院等）
- ・所長（公立の研究所等）
- ・社長（企業等）
- ・知的財産管理に関する部署の責任者

●請求先【請求先が上記「担当者」と異なる場合にのみ記入】

氏名	職名
(英名)	
所属機関	
部室課講座名	
住所 〒	
E-mail	TEL FAX

請求先が「担当者」と同じ場合は記入しない

【研究課題におけるJCM微生物株の使われ方がわかるよう可能な限り具体的に記述し、全文を生物遺伝資源提供同意書 第2項-①にも記入】

●研究課題名及び微生物株の具体的使用目的・方法

- ・研究の**実施目的**と研究課題における**JCM微生物株の使われ方**がわかるよう、**具体的に記入**（記載内容が不十分な場合、公印等押捺後であっても加筆修正をお願いすることがあります）
- ・こちらに記載の全文を**生物遺伝資源提供同意書（書式M-5/5C）の第2項-①にも記入**

既に提供同意書（MTA）を締結している場合：MTA No. BM

特記事項:

締結済みの生物遺伝資源提供同意書を再利用する場合にのみ記入

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

（理研BRC記載欄）

国立研究開発法人 理化学研究所

バイ

E-mail

https:

書類が整っているかを **こちらで事前確認します** ので、必要事項を入力した下書きファイルをメール添付でお送り下さい。記入事項に問題ないことが確認された後に必要部数を印刷し、公印等の捺印手続きを進めてください。

JCM番号の 数字のみ 記入
(基準株の T は省略)

(書式M-4-2)

JCM No.	微生物材料名	提供形態※	本数	バイオ セーフティ レベル
1217	<i>Bifidobacterium longum</i> subsp. <i>longum</i>	A	1	1
7050	<i>Bifidobacterium longum</i> subsp. <i>longum</i>	A	1	1
8422	<i>Pyrococcus furiosus</i>	B	1	1
12257	<i>Porphyromonas gingivalis</i>	C	1	2

オンラインカタログを確認し、
亜種名を含めた最新の学名を記入

JCM Catalogue

微生物材料名

Porphyromonas gingivalis (Coykendall et al. 1980) Shah and Collins 1988

Taxonomy in NCBI database: *Bacteria*; *Bacteroidetes/Chlorobi* group; *Bacteroidetes*; *Bacteroidia*; *Bacteroidales*; *Porphyromonadaceae*.

12257 T CIP 103683 <-- J. P. Carlier AIP 10005 <-- ATCC 33277 <-- A. L. Coykendall 2561 <-- J. Slots.

Accessed in 2003.

=ATCC 25893 =CCUG 25928 =CIP 103683 =DSM 20709 =NCTC 11834.

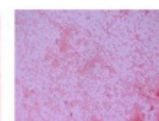
Bacteroides gingivalis.

Type strain [3113.5559].

Medium: 469; Temperature: 37°C; Anaerobic; Rehydration fluid: 663



open link in new window



open link in new window

JCM No.

1 または 2 を記入
2 (provisional) と表示の場合 2 を記入

Related information on delivery / use of the strain

Biosafety level	2	document
Terms and conditions	Not applicable	
Export control (1)	No	
Distribution control in Japan (2)	No	
Genetically modified microorganism	No	
Technical information	-	
Additional information	-	

Not applicable: 提供条件の設定無し (MTA第4項に "N/A" を記入)
Imposed: 内容を確認し、MTA第4項に 提供条件の全文 を記入

No: 植物防疫に関する手続きは不要
Controlled: 植物防疫所への許可申請が必要
Restricted: 原則として提供不可

(1) in complying with the Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law of Japan

(2) in complying with the Plant Protection Law of Japan

Delivery category

Domestic	A (Freeze-dried or L-dried culture) or C (Actively growing culture on request)	information
Overseas	A (Freeze-dried or L-dried culture) or C (Actively growing culture on request)	information

ここに表示の A, B, C, F
いずれかの記号を記入

書式M-4-2 (依頼微生物株のリスト) は別書式でもお受けできます
その場合、書式M-4-2には「別紙に記載」とご記入の上、「微生物材料提供依頼書 別紙」と題した微生物株のリストを添付してください。

*菌株により提供できる形態が異なるため、カタログ (<https://jcm.brc.riken.jp/ja/catalogue>) にてご確認の上、下記のA~CまたはFのうちいずれかの記号をご記入下さい。

- A 凍結乾燥またはL-乾燥微生物株
- F 凍結標品
- B 培養微生物株 (乾燥保存不能株)
- C 依頼培養微生物株 (乾燥保存可能株)

非営利学術目的

営利目的

提供形態 (Delivery category) の
記号と標品の種類、提供手数料に
ついてはこちら

本書式の3ページ目（書式M-4-3）
バイオセーフティレベル2に該当の微生物株の提供依頼時にのみ提出

（書式M-4-3）

研究責任者（または 実験担当者）の方へ

バイオセーフティレベル 2 に相当する微生物株をご依頼の場合は、以下にご記入をお願いいたします。

1. 2019年1月より、バイオセーフティレベル2の設備で取り扱うべき微生物株の提供において、特別梱包とその運搬等にかかる追加経費のご負担を発送ごとをお願いしています。当室ホームページに掲載の「バイオセーフティレベル2の設備で取り扱うべき微生物株の発送経費ご負担のお願い」（下記URL）をご覧いただき、発送ごと追加のご負担についてご承諾いただけますか？

該当する項目
に ✓ を入れる

☒ はい（2へ） ☐ いいえ（バイオセーフティレベル2に該当する微生物株は提供できません）

2. 貴機関は微生物等を試験研究に用いる場合の取扱い及び管理に関する規定を有し、微生物等安全委員会が設置されていますか？

☒ はい（3へ） ☐ いいえ（4へ）

3. ご依頼の微生物株はその委員会により承認されていますか？

☐ はい（ありがとうございます。質問は以上です）
☒ いいえ（4へ）

4.

4.1. 実験担当者の方のバイオセーフティレベル 2 の微生物株取り扱い経験について

取り扱い経験を積まれた機関名等を記入

経験年数	10 年	実験場所	〇〇大学××学部, 株式会社〇〇 ××研究所
取り扱った微生物について	バイオセーフティレベル 2 の微生物株の取り扱い経験 主な微生物名 Escherichia coli Pseudomonas aeruginosa Clostridium difficile		
	7 年		

4.2. 施設・設備について

バイオセーフティレベル 2 の微生物を取り扱う施設および設備についてご記入ください
（クリーンベンチのみは不可）

☒ 安全キャビネット
☒ オートクレーブ

※連絡事項等がありましたら、こちらにご記入ください。